

ここ数年不況の中で、ふと気が付くと姿や形を変えて新しい時代に挑戦して成功している例がいくつもあります。

最近都内で評判となっている店舗型「靴みがき屋」が繁盛していると聞いて見に行き参りました。

私のご存じのように体型が極めて悪いものですから、既成の洋服は着られませんので、オーダーで作っております。その仕立て屋さんにもいつも言われます事は、「オーダーメイドの服を着る時はYシャツと靴だけは良いものにして下さいね」と念を押されます。Yシャツは体型上、やはりオーダーで作っておりますが靴はなかなか仕立て屋が要求するような物には手が届きません。

よく世上ではホテルや旅館、料理店は客の靴を見て客種を評価すると言われます。

特に男性の場合、お洒落はネクタイと靴くらいかも知れませんが…。ビジネスマンの基本は足元にあると言われますが、朝早くから、夜遅くまでの毎日の仕事の中ではなかなか靴を磨く事は難しい事です。私も朝は布でひと拭きする事がせいぜいです。

「靴みがき屋」さんは従来は駅前などの路上で行われて居りますので、冬は寒く、夏は暑い商売でした。更にこの頃は取り締まりが厳しくなってきたので、それでは思い切って店舗型の靴みがき店を始めたなら見事成功していると聞いて、その店舗を訪ねてみました。

最初に向かったところは、新橋駅ビル2号館の地下街にありました。所狭しと並ぶ飲み屋街の奥に「靴みがき本舗」と言う看板が掲げられた2坪ほどの小さな店でした。若い男女2人と、座り台が2つで店はいっぱいです。磨き料金は基本コースで600円でした。

「お客さんは1日何人くらいですか?」と聞くと、「百人を目標にしていますがまだ少し届きません」と笑っておられました。

私は、胸算用してみました。仮に1日80人として、原価率の低い大変面白い商売になるな…と思いました。家賃は2坪で20万円と聞きました。

次に青山には高級靴みがき店「プリフト アッシュ」を予定しましたが、時間がとれませんでした。こちらは椅子、カウンター、照明などもレストラン風にして、ジャズを流し、雰囲気を作り、靴を磨くだけでなく、新旧の靴や、シューケア用品を取りそろえて、ファッションの街、青山を歩くにふさわしいアドバイスをしてくれるので、わざわざ靴を磨いてもらいに行く客が多いそうです。南青山の店は基本料金1,575円、平均客数はおおよそ30人くらいと聞きました。新橋駅ビルの地下街は、飲食店が数十店もきしめき合っております。のぞいてみますと1店舗が5~6坪位の小さな店でした。私はふと昨年見学しました北国の屋台村の店を思い出しました。

これからは少子化、不況ですから時代に合わせて経費のかからない、家賃負担の少ない小型店舗へと転換が必要だと感じました。

2~3坪の小型店舗を学校、病院、公共施設へ張りつくコバンザメ商法を考慮する事も、地方の小零細業が少子化時代を生き残る策として、必要な時だと思いました。